

連絡先: 〒323-0820

栃木県小山市西城南 3-3-2

電話 : 0285-28-2855 FAX 0285-28-6998

e-mail: iwai-rokan@tvoyama.ne.jp

経営サプリメント…第 218 回

## 佐々木朗希の細かい気遣いに米記者“感心”

### 165 キロより心揺さぶられた「偉大な瞬間」

#### 1 次ラウンド・チェコ戦では死球を当てた相手にお菓子を持って“お詫び”

野球日本代表「侍ジャパン」の佐々木朗希投手（ロッテ）は、第5回ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）で世界から大きな注目を集めた。最速 165 キロの剛速球はもちろんだが、MLB ネットワークのジョン・モロシ記者が感激したのは“人間性”だった。

1 次ラウンドのチェコ戦（3 月 11 日）では死球を当てた相手にお菓子を持ってお詫びするなど“気遣い”は度々話題となり、WBC を現場で取材したモロシ記者もそのシーンを実際に間近で目撃していた。

21 歳にして世界の強打者をねじ伏せ、今大会で一躍名をあげた佐々木投手。謙虚で仲間を思う姿もまた、脚光を浴びている。お詫びの品のお菓子は、ロッテ製のお菓子ではあるが、佐々木投手が自費で買い求めたものだそうです。

野球で死球を当てても、軽く頭を下げる程度、（それすらしないで乱闘騒ぎまでのシーンは）よく目にする光景です。

そもそも謝罪に関して、日本人と外国人では価値観に大きなずれがあるようです。

『とりあえず謝る日本人』『絶対に謝らない外国人』

日本人には「謝るが勝ち」という言葉があるほどで、「とりあえず謝っておこう！」という風潮があります。「申し訳ございません。」「ご迷惑をおかけしました。」など謝罪の言葉は日常的によく使うのではないのでしょうか。

この態度は、外国人からすると大変奇怪な行動に映るそうです。

「非を認めたら負け」という概念が殆どの国にあるので、そんなにすんなりと謝られたら肩透かしを食らった感覚に映るようです。

佐々木投手の心使いは、日本人は、謝罪や感謝の気持ちを態度で表すことが、社会に対しての「けじめを示す礼儀」として重視されているところを示した行為であると考えます。

# 常態化する企業の人手不足

## ～人手不足に対する企業の動向調査（帝国データバンク）より

### ◆人手不足企業 5か月連続で5割超

採用活動に苦戦する企業が多くみられるなか、人手不足が常態化している企業は少なくありません。株式会社帝国データバンクが実施した「人手不足に対する企業の動向調査（2023年1月）」（調査期間：2023年1月18日～1月31日。調査対象：全国2万7,362社、有効回答企業数：1万1,719社（回答率42.8%））によれば、正社員の人手不足企業の割合は51.7%、非正社員では31.0%の高水準となっています。

### ◆人材の確保・定着への対応を迫られる

企業の人手不足の割合は、コロナの影響で一時的に下がった業界はあるものの確実に上がり続けています。2022年には人手不足による倒産件数が2019年以来増加、なかでも「従業員退職型」が全体の4割を超えるなど、人材確保が切実な課題となってきている実態が各所で確認されています。

人材確保・定着の施策に真剣に取り組まざるを得ない状況が続いていくことが予想されるなか、今後、自社の現況を把握し対応を検討していく必要性はますます高まりそうです。

## 転職経験者が語る「辞めた方がいい職場」ランキング

民間の調査会社ピコラボが、「転職サイトにて2023年2月3～10日、転職・退職経験のある338人（男性117人／女性221人）を対象に、転職・退職経験者が回答した」「辞めたほうがいい職場」の要因ランキングベスト3は、以下の通りです。

実体験に基づくコメントも掲載いたします。

### 第3位：労働時間・休日などの条件があわない（102票）

ライフワークバランスに直結する「労働時間・休日などの条件があわない」が3位にランクイン。

“プライベートの時間”が確保できない状況に対して「ライフワークバランスが極端に偏るような労働を強いられる職場は肉体的にも精神的にも疲弊するため辞めたほうがよい（29歳女性）」などの声が上がりました。

ほかにも「毎日1時間以上の残業がある職場は、残業があることが当たり前感覚になっているので早くやめた方が良いです（30歳女性）」といった、メリハリのない職場から転職をすすめる意見も見受けられました。

### 第2位：給与面が悪い（123票）

2位は、正しく評価されない「給与面が悪い」職場。自分の仕事への対価である給与が変化しないような、正しく評価されない職場には不安を抱える人が多いようです。また、副業を許可する会社が増える一方で「給料が安いにも関わらず、ダブルワークを禁止している職場（35歳男性）」を不安視する声もありました。

ほかの回答者からは「賃金が全く上がらない会社は迷う事無く辞めたほうが良いです、賃金が全く上がらない会社で働いていても仕事に対するモチベーションは上がりませんし他に賃金の良い仕事は比較的たくさんあるので悩む事無く転職したほうが自身の人生にとってプラスになります（41歳男性）」など、賃金がモチベーション維持に大きく影響すると指摘されています。

### 第1位：人間関係が悪い（セクハラ・パワハラなど）（184票）

1位となったのは「人間関係が悪い（セクハラ・パワハラなど）」でした。人間関係が良好でない職場ではスムーズに仕事を回せず、ストレスが溜まりやすくなる一方です。逆に、信頼関係を築ける職場ではメンタルを壊しづらく、繁忙期でも協力して対応できます。

回答者からは「パワハラ体質の会社はすぐにやめた方が良いです。精神的に鬱になりやすいです（58歳男性）」など、昔ながらの体制に対する注意喚起の声が上がりました。将来を見据えて、自分の職場を客観視したいものです。

## 【ブラック企業だと思える職場の特徴ランキング】ベスト10

### ブラック企業だと思える職場の特徴に関する意識調査

株式会社AlbdLink(本社：東京都江東区、代表取締役：河田 憲二)は、現在お仕事をしている男女500人を対象に「ブラック企業だと思える職場の特徴に関する意識調査」を実施し、そのデータをランキングにしました。

ブラック企業とは「極端な長時間労働やノルマがある」「コンプライアンス意識が低い」といった企業の総称です。就職・転職にあたり「ブラック企業は避けたい」と思っている方がほとんどではないでしょうか。

#### <10位 勤怠管理がずさん>

・定時があいまい(34歳 女性)・出退勤の管理がいい加減(39歳 男性)・勤務時間と休憩時間の区分があいまい(41歳 男性)

そもそも「タイムカードや出退勤時刻を管理するシステムがない」「勤務時間があいまい」などの回答が寄せられています。勤怠管理がずさんだと、残業代未払いや長時間労働につながりそうですね。

#### <9位 コンプライアンス意識が低い>

・労働基準法に違反する企業(29歳 男性)・コンプライアンスが緩い(36歳 男性)・法令違反。あるいは違反ではないが適正でもない運営(45歳 女性)

コンプライアンス意識が低いからこそ「ハラスメントの横行」「サービス残業」などにもつながるのでしょう。会社が決めたはずの就業規則が守られていないという声も寄せられています。

また「法律やルールが守られていないのに、危機感をもっていないのが問題」という意見もありました。

新卒から同じ会社で働いていると、異常な状況でも普通と思ってしまうケースもありそうです。

#### <8位 離職率が高い>

・人がどんどん辞めていく(24歳 女性)・常に求人が出ている(50歳 女性)・社員の離職率が高く、とりわけ新人が3年以内に離職する率が高い企業です(69歳 男性)

過度の負担やハラスメントが原因で退職する人が多いことから、ブラック企業は離職率が高くなりがちです。

離職率が高いため、求人広告がよく出ているのもブラック企業の特徴となります。同じ企業が同じポジションの求人を出し続けている場合は、「ブラックではないか」と疑ってみたほうがよいでしょう。

#### <7位 人間関係が悪い>

・社内の雰囲気が悪く、社員同士の仲が悪く、嫌味であふれている会社(47歳 女性)  
・職場の雰囲気が悪い。ギスギスした感じで、いつも嫌なオーラが漂っている(57歳 男性)

ブラック企業では過重労働やハラスメントにより、職場内がピリピリした雰囲気になることも多いでしょう。精神的な余裕をなくす人が増え、人間関係が悪くなりやすいと推測できます。

#### <6位 トップダウンで意見が通りにくい>

・年功序列で上司が絶対(35歳 女性)・社員の意見を受け入れない(37歳 男性)・ワンマン社長の独裁体制の会社(58歳 男性)

「上司や社長の意見が絶対」「一般社員の意見が反映されない」といった回答が寄せられました。業務改善したくても意見が受け入れられないと、仕事に対する意欲が失われそうです。仕事に対してやる気がある人「常に改善を目指している人」ほど、「この会社はダメだ」と感じやすいでしょう。

#### <5位 給料が(少ない)安い・低賃金>

・労働量と賃金が釣り合っていない(26歳 女性)・同業他社と比較して、給与が著しく低い(40歳 女性)  
・すぐ給料カットになる(50歳 男性)

「激務・専門職なのに薄給」「世間相場を下回っている」「ボーナスが少ない」などの回答が寄せられました。

#### <4位 ハラスメントがある>

・当たり前のようにパワハラがあって、怒りで人をコントロールしようとする人が上層部にいる(27歳 女性)・パワハラをやっている人に、周りが注意できない(30歳 男性)・パワハラ・モラハラなど、ハラスメントが日常的に行われている印象がある(47歳 女性)

「ハラスメントする人がいる」のはもちろん問題なのですが、「ハラスメントを取り締まる制度や雰囲気がない」のも大きな問題です。ハラスメントの有無を調べるには、口コミなどが参考になるでしょう。

ただ「ネットの情報には嘘もある」「いつ時点の口コミかわからない」という点には注意してください。

#### <3位 休みが少ない・休みにくい>

・有給を取ろうとすると怒られる(22歳 男性)・休みが少ない。週休1日もとれないことがある(39歳 女性)・休日出勤が当たり前(42歳 女性)

求人票で「年間休日が90日程度」だと、休みが少ない会社といえます。

有給休暇を使えない雰囲気のブラック企業も多いので、就職・転職活動時には有給消化率などをチェックしておくといでしょう。またカレンダー上は休日があっても、休日出勤で消えてしまうという会社にも。

そのため休日出勤の有無や頻度も確認しておいた方がよさそうですね。

#### <2位 長時間労働・過重労働がある>

・「残業は22時まで」と規定にあるため、「22時までは残れる=働かないといけない」というルールがある(28歳 女性)・残業が当たり前(40歳 女性)・残業が多く、1日の就業時間や拘束時間が長い(51歳 男性)

繁忙期やトラブルにより、一時的な残業はどんな企業でも発生するでしょう。しかし「長時間勤務が当たりの企業」「定時で帰りにくい雰囲気の企業」には注意が必要です。長時間労働が続くと、身体的・精神的な不調があらわれる可能性も高まります。

#### <1位 残業代が出ない>

・残業をしても正當に残業代が支払われず、サービス残業は当たり前(27歳 女性)・タイムカードを切らせて残業させる(39歳 女性)・残業をさせるだけさせて、賃金を支払わない(42歳 男性)

残業しているのが管理職でない場合、残業代が出ないのは法律違反です。

また、一定時間の残業を見込み、あらかじめ残業代を給与に含めて支払う「みなし残業」をブラック企業の特徴として挙げた人も複数いました。みなし残業は適正に運用されていれば違法ではありませんが、みなし残業制の会社は、敬遠・警戒する人も多いようです。

### ブラック企業だと思う職場の特徴

n=500(複数回答)

